

## 乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

## 乗務員への指導・監督の記録

実施月日 令和 8 年 6 月 22 日

時 間 9 時 30 分 ~ 11 時 00 分

場 所 北上本店営業所

検  
印

非公開

営業所名 北上本店営業所 矢巾営業所

非公開

## 【一般的な指導事項】

- ☐ ①事業用自動車を運転する心構え
- ☐ ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ☒ ③バスの構造上の特性
- ☐ ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ☐ ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ☐ ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ☐ ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ☐ ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ☐ ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ☐ ⑩健康管理の重要性
- ☐ ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ☐ ⑫ヒヤリット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ☒ ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリット体験を共有する
- ☐ ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

## ※バスの構造上の特性

## 1 バスの特性に合わせた運転（バスの構造上の特性）

## (1) 車高の高さに配慮した運転

「車高が高い」という特徴は、車高感覚、前方距離間隔に注意した運転が必要である。

## (2) 車長の長さに配慮した運転

「車長の長い」ことから、内輪差が大きい、オーバーハング部がはみ出す等の特徴がある。

## 指 (3) 車幅の広さに配慮した運転

「車幅が広い」ことから、接触やはみだしの危険性があるなどの特徴があり、この特徴に注意した運転が必要である。

## (4) 死角の大きさに配慮した運転

「死角が大きい」ことから、直前、側方、後方など見えない部分に配慮した運転が必要である。

## (5) スピードの特性に配慮した運転

車両が大きく重量のあるバスは、スピードが大きな影響を及ぼします。この特性を理解し、法定速度を遵守したゆとりある運転が必要である。

## 2 多様化する車両に合わせた運転

その用途・使用地域などに合わせて、車両の大きさ、構造などが多様化しています。多様化するバス車両の特性に合わせた運転が必要である。

## 【解説】

バス車両は、その用途や使用地域などに合わせてさまざまな車両があります。小型車両による住宅地などの狭い地域を運行するコミュニティバスや、ラッシュ時やイベント時の輸送力の増強のために、連節バスが運行されている地域もある。各種のバスは車長や車幅が異なります。運転にあたっては十分な注意が必要です。

裏面へ

|          |                                                         |
|----------|---------------------------------------------------------|
| 指導・教育の内容 | ※ ドライブレコーダー、デジタルタコグラフ等を活用し運転の危険性を認識させる。                 |
|          | ※ 事業用自動車による交通事故の統計を活用した安全指導                             |
|          | ※ 熱中症予防対策について                                           |
|          | ※ 異常気象時の対応について<br>運行管理規程による異常気象時等の対策及び措置要領について          |
|          | ※ 6月の重点管理（降雨時の運転には細心の注意を払う）                             |
|          | 【悪天候時の事故防止】悪天候 早めに危険をキャッチする                             |
|          | ● 昼間でもヘッドライトを点灯する                                       |
|          | 雨天時は昼間であっても視野が悪化するため、ヘッドライトを点灯し、視認性を向上させて安全運転に努める。      |
|          | ● ハザードマップで危険個所を確認する                                     |
|          | ハザードマップを活用して危険個所を共有するとともに、異常気象時の対応マニュアルを作成して運転者に配布しておく。 |
|          | ● 災害に備えて防災グッズを搭載する                                      |
|          | 非常食や携帯トイレ、緊急脱出用ハンマーなどと、地域の気候や特性にあわせた防災グッズ               |

非公開